

6学年部会の様子

【提案内容】

「研究主題と副主題の共通理解～子どもの学びが深まった姿とは!?話題提供者の過去の実践をもとに共通理解を図る～」

【パネルディスカッション】

4名の先生方の実践を通して、学びが深まった姿について考えました。

- ①子どもが単元で学んだことを自分の生活の中でいかせた授業
- ②子どもが授業当初と終末で、見方や考え方が広がった授業
- ③子どもの問題意識が深まり、新たな学習問題が出た授業
- ④子どもが次単元で、前単元での学びをいかした授業

【部会での協議】

パネルディスカッション後、その内容をふまえ部会で学びの深まりについて話し合いました。

- ・社会科の深い学びは、見えないものを構造化し概念的に捉えられるようになること。
- ・興味関心に差がある歴史学習において、深い学びを提供するためには工夫が必要。
- ・対話的な授業を生み出すために、学級経営で普段から心がけていくことが大切。
- ・6年の学習は、単元同士がつながりやすい。子ども自身がそのつながりに気づき、その気づきを教師が捉えることが大切。
- ・音声言語である対話、文字言語である振り返りそれぞれ大切にしていく。